

千原せいじ、陣内智則、チュートリアルなど、よしもと芸人総勢22名が シンガポールで大ウケ！英語でのステージが大成功！！

@Anime Festival Asia 2015 Singapore 「Yoshimoto Entertainment Stage」

ステージ終了のお知らせ&ご紹介のお願い

このたび、よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の芸人やパフォーマーが、11月27日(金)-29日(日)の3日間、シンガポールで行われる「Anime Festival Asia 2015 Singapore」(以下AFA2015)にて、全て英語で行う約1時間のステージ「Yoshimoto Entertainment Stage」に挑戦することとなりました。「アニメフェスティバルアジア」とは、2008年にシンガポールからスタートした東南アジア最大の日本ポップカルチャーイベント。過去7年間で11度開催されており、2012年以降は累計でのべ13万人を超える集客を記録するなど、日本のアニメーションを中心にコミックやフィギュア、食文化やファッションなどさまざまな日本のクールカルチャーを紹介する巨大イベントです。イベント会場にある2つのステージでは1日中、コンサートやコスプレのコンテスト等さまざまな催し物が開催されており、その中のプログラムのひとつとして、「YOSHIMOTO ENTERTAINMENT STAGE」と題されたショーが1日1回開催され、お笑いというジャンルでは初参加となるエンターテインメントショーを繰り広げました。

「Yoshimoto Entertainment Stage」のステージ成功に向け、ステージで日替わりMCを務める千原せいじ、陣内智則、チュートリアル、ほか芸人たちはECCのサポートを受け、レッスンしてまいりました。ステージでは、MCの進行のもと、テンダラーやくまだまさしなど芸人がネタを披露するほか、「The Empty Stage」や「劇団アニメ座」が登場し、現地のお客様に向けて、英語でのステージに挑戦。27、29日は会場内の「AFA AKIBA MINI STAGE」、28日は1000人以上の客席を擁する「MAIN STAGE」にて約1時間のライブを行いました。

●27日初日のステージは、客席とはチュートリアルの司会でスタート！

すべて英語で行われるステージとあってチュートリアルも慣れない英語でのMCに挑戦。「Hello, Everyone!」から始まり、今回のステージについての説明を始めるのですが、不安になったのか、途中で徳井義実が「伝わってますか?」と女性アシスタントに確認する場面もありました。

この日はもりやすバンバンピガロ、KAMIYAMA、テンダラーの3組がネタ・パフォーマンスで登場。

全編英語での漫才を披露したテンダラーは、伝統(?)の客いじりである「べっぴんさん、べっぴんさん、ひとつ飛ばしてべっぴんさん」を英語で披露し、爆笑をさらっていました。また、ミッション・インポッシブルをモチーフにしたネタにも、お客さんは大盛り上がり。

続いては打ち合わせナシ、台本ナシ、道具ナシの即興コントショー、「The Empty Stage」。メンバーは二ブンゴ!・宮地謙典、インポッシブル・井元英志、インポッシブル・蛭川慎太郎、かたつむり・中澤章吾の4名。今回は、「Half Life」と「CMリプレイ」という2つのテーマでお客さんからお題をもらい、即興コントに挑戦しました。本人たちが「嬉しい誤算」と話すほど、ステージが盛り上がり、こちらも爆笑につぐ爆笑のショーとなりました。

最後に登場したのは、芸人が得意のアニメのモノマネで披露するコント劇集団、「劇団アニメ座」。若井おさむを座長とする本劇団から、若井おさむ、天津・向清太郎、R藤本、こりやめでてーな・伊藤広大、キャベツ確認中・キャプテン★ザコ、しまぞうZ、山田カントリー・浅井優、石川こたみの8名が出演。それぞれ色んなアニメキャラに扮して登場するのですが、さすがアニメフェスのイベントだけあり、それぞれのキャラが登場するとお客さんは大盛り上がりとなり、特に『ドラゴンボール』のベジータや『進撃の巨人』の巨人(浅井)が登場したときには、客席から大爆笑が起きました。

初日の公演が無事終了した後の囲み取材では、1年ぶりに英語での漫才をしたというテンダラー・浜本広晃が「ちょっとウケてきたらニヤニヤが止まらなかった(笑)」と手応えを感じたことを明かします。また、「英語でウケるのって、ふだん日本語でやってウケるのとはまた違う感じ」と、新鮮な感覚があるとも語る浜本。

徳井は、「お客さんの「楽しもう」という気持ちが伝わってきてやりやすかった」とコメントした後、イベントに関しては「海外での日本のアニメ人気のすごさを再確認した」と驚きを隠せないようでした。



-----本件に関するお問い合わせ-----

(株) よしもとクリエイティブ・エージェンシー プロモーションセンター 担当: 生井

【TEL】03-3209-8256 【携帯】080-1501-3845 (生井) 【E-mail】 namai.azusa@yoshimoto.co.jp

(株) MCIPホールディングス 横手

【携帯】080-2414-0545 【E-mail】 yokote.shizuko@yoshimoto.co.jp



●28日はメインステージでのパフォーマンス！立ち見が出るほど大盛況に！

2日目のMCを務めたのは千原せいじ・千原せいじと陣内智則。交互に英語で話せいじと陣内でしたが、あまりのせいじの英語のブロークさに思わず陣内が「ストップストップ！」と進行を止める場面も。とはいえ、短い練習期間の間でも必死に勉強し、なんとかMCとしてステージを進行しました。

満員のお客さんの前で、リンゴのジャグリングやバルーン芸を披露したもりやすバンバンビガロ。リンゴを食べながらジャグリングするシーンや、膨らませたバルーンに体を入れてピョンピョン飛び跳ねるパフォーマンスでは、お客さんの拍手喝采をさらいました。KAMIYAMAは、傘や新聞を使ったマイムや、次々と現れる光の玉を食べていくマジックなど、ユーモラスな中に独特のストーリー性が感じられるパフォーマンスで観客を魅了します。また、バルーンアートを披露したキャベツ確認中は得意のアニメネタで勝負。『ワンピース』のチョッパーの帽子を初めとして、『進撃の巨人』のアイテムなどを次々とバルーンで作り、お客さんにプレゼントしました。

「The Empty Stage」では昨日同様2つのテーマでお客さんからお題をもらい、即興コントに挑戦。お客さんからもらうお題は日々違うので、昨日とはまた違うコントに。“Half Life”ではゾンビというお題のもと、まずは60秒でコントを披露。ゾンビに怯えるカップルの前にゾンビが登場、男は殺されてしまいますが、怒った女がゾンビを殴り倒すというストーリーを披露。今度は半分の30秒で同じシーンを演じます。先ほど見た芝居を早回したような芝居に観客は爆笑しますが、さらに半分の15秒、そのさらに半分…と演じていくうちに、どんだんワケのわからない動きになっていくゾンビとカップルにお客さんは大爆笑、ついには1秒での芝居となり、その一瞬のコントに拍手喝采が起こりました。

英語でのMCについて聞かれた陣内がせいじの英語の発音がひどかったと指摘しますが、当の本人は「全然全然」と、まったく気にしていないようす。「今日の出来は何点ですか？」と聞かれると「100点」と自信満々です。「高校生のとき、アルファベットを小文字でaからzまで書かれへんかったオレからしたらスゴいことや？」と話しました。

●MCはせいじ1人。昨日よりもスムーズに進行役を務めました！

“すべり知らずのエンターテイナー”と紹介されたくまだまさしは、まずはおなじみのメガネを上下させるパフォーマンスでシンガポールのお客さんを笑いに誘います。“セクシーマイポスター”をプレゼントするくだりでは、そのポスターの写真にお客さんも爆笑。その後も意外と(?) 欲しがる人が現れていました。最後に風船を鼻でふくらませ、もう片方の穴で笛を吹くパフォーマンスでは大歓声が。大盛り上がりステージとなりました。その後、「The Empty Stage」、劇団アニメ座とも、安定のパフォーマンスで観客を魅了。「The Empty Stage」を見たお客さんの中には3日間すべてステージを見たというファンの人まで現れていました。

ステージ終了後には、せいじが「こっちのお客さんは、リガよくなって楽しかったです」と話すと、くまだが「でも僕、正直言って爆笑ではなかったです」と告白。みんなが口々に「そんなことないよ～」と励ますと、「大爆笑でした！」と満足げな笑顔でアピールしていました(笑)。

3日間の感想を聞かれた宮地(エンプティステージ)は、「正直嬉しい誤算だった」と振り返ります。「英語も使わずにどうなるのか不安だったんですけど、こんなに楽しんでもらえるなんて。3日間、最高のステージとなりました！」と、笑顔を見せていました。また、蛭川がウケていただけでなく、お客さんから「キャー！」と言われていたそうで、「シンガポールではモテル顔なんですかね？」と嬉しそうに話す蛭川。アニメ座の若井おさむは、今回のステージを通して「アニメは世界共通なんだ」と思ったそう。今回のイベントにもってこいのアニメ座公演に手応えを感じていたようでした。ただ、今回いちばん英語のセリフが多く、大変だったと思われる向は「全員がんばって英語を覚えてたのに、いちばんの盛り上がりがまったく英語を話さない巨人が登場するシーンっていうのがねえ……」と、悔しがりました。

▼日 程： 2015年11月27日(金)～29日(日) <3日間>

▼場 所： シンガポール (Suntec Singapore Convention&Exhibition Center)

▼出演芸人： 日替わりMC： 千原せいじ(28/29日)、陣内智則(28日)、チュートリアル(27日)

ネタ： テンダラー、もりやすバンバンビガロ、くまだまさし パフォーマンス： KAMIYAMA

The Empty Stage： ニブンゴ!宮地、かたつむり中澤、インポッシブル / 劇団アニメ座： 天津向、

若井おさむ、R藤本、キャベツ確認中、こりやめでてーな伊藤、石井ことみ、山田カントリー浅井

▼ステージ

27日(金) MC： チュートリアル、ネタ： テンダラー、もりやすバンバンビガロ

パフォーマンス： KAMIYAMA、劇団アニメ座、The Empty Stage

28日(土) MC： 千原せいじ、陣内智則 ネタ： もりやすバンバンビガロ、キャベツ確認中

パフォーマンス： KAMIYAMA、劇団アニメ座、The Empty Stage

29日(日) MC： 千原せいじ ネタ： くまだまさし、もりやすバンバンビガロ

パフォーマンス： KAMIYAMA、劇団アニメ座、The Empty Stage